

# 学力の向上について

## 1 平成26年度全国学力・学習状況調査結果公表2について(別紙)

## 2 学力向上のプランの策定について

### (1) 趣旨

全国学力・学習状況調査の結果における本県の児童生徒の学力や学習の状況は、平成26年度調査では、小・中学校ともに全ての教科で全国平均を下回るとともに、質問紙調査からも、児童生徒の学習状況や各学校の取組において、十分に改善されていない面も明らかになった。

そこで、授業改善を始め、学習習慣や生活習慣の改善、体力の向上等、学校、家庭、地域が一体となった取組が必要であり、県教育委員会において学力向上のプランを策定する。

### (2) 計画の概要

①計画期間 平成26年9月～平成30年

②策定主体 滋賀県教育委員会

#### ③基本的な考え方

- ・学力向上のプランは、2年スパンで4年間の中長期計画を策定する。また、併せて、すぐに取り組む必要がある短期計画を示す。
- ・確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかな体(体)の調和のとれた「生きる力」を育成し、滋賀の子どもたちの学力向上を図る。

### (3) 短期計画

(基礎的・基本的な知識・技能の習得や学習状況の改善等のためすぐに取り組む主要内容)

- ・分析結果を踏まえた学力向上策の検証、授業改善(10月～)
- ・学び直しのための問題集・指導のポイントの作成・配付、学校での活用(11月～)
- ・つまづきを把握するための評価問題の作成・配付、学校での活用(11月～)
- ・放課後の活用と家庭学習の改善(11月～)

「自立と共生」に向け、主体性、社会性を育む

### (4) 中長期計画

- ・2年スパンで4年計画を策定
- ・学力・学習状況等の改善の方向性と施策を示す

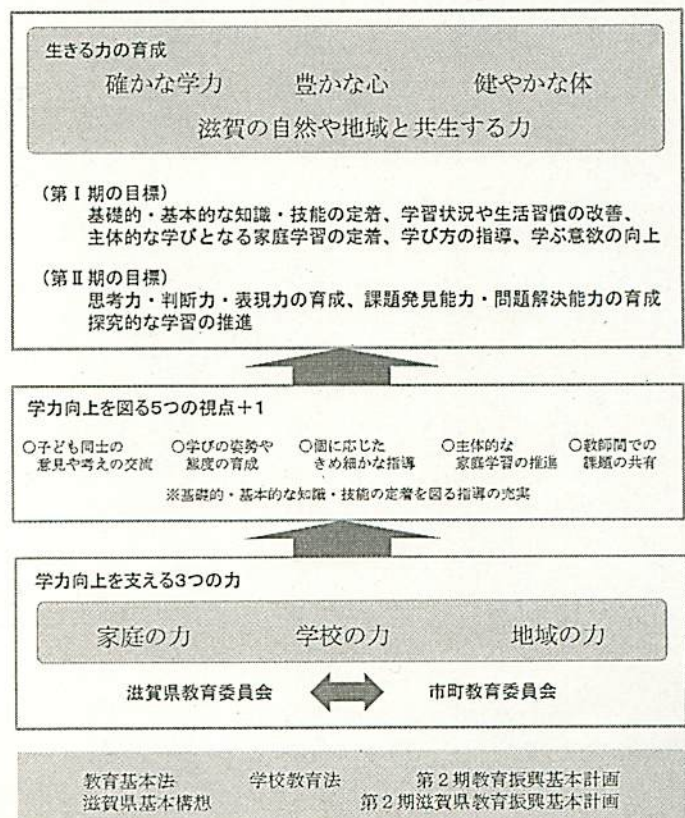
#### <目標>

#### 第Ⅰ期

基礎的・基本的な知識・技能の定着  
学び方の指導、学ぶ意欲の向上  
学習状況や生活習慣の改善  
主体的な学びとなる家庭学習の定着

#### 第Ⅱ期

思考力・判断力・表現力の育成  
課題発見能力・問題解決能力の育成  
探究的な学習の推進



### (5) 予定

- 10月中 素案作成
- 10月下 市町との調整
- 11月 学力向上施策の検討
- 12月 学力向上のプランの策定

平成26年度  
全国学力・学習状況調査結果公表2

平成26年 9月16日

滋賀県教育委員会事務局学校教育課



○ 平成 26 年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査の経年変化および学力との関係

本県では、全国学力・学習状況調査を分析し、課題を明らかにして、次の5つの視点をもとに、学力向上の取組を進めている。

<滋賀県の学力向上を図る5つの視点>

- ① 子どもが意見や考えを交流すること
- ② 学びの姿勢や態度につながること
- ③ 一人ひとりに応じたきめ細かな指導
- ④ 主体的な学びとなる家庭学習を促すこと
- ⑤ 教師間で課題を共有すること

[学校の指導状況や児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係]

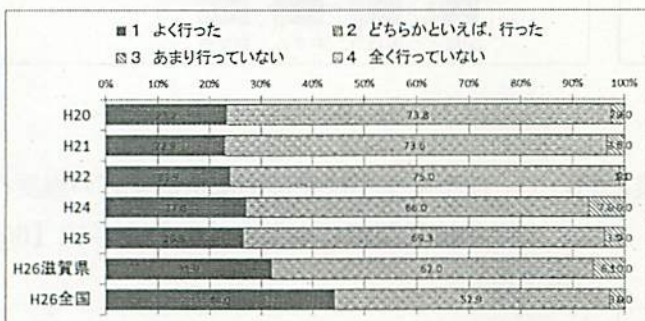
学力向上を図る5つの視点に関する児童生徒質問紙、学校質問紙回答状況の経年変化を示すとともに、5つの視点に関わる学校の指導状況と平均正答率との関係を見ると相関があることが分かる。

(1) 子どもが意見や考えを交流すること

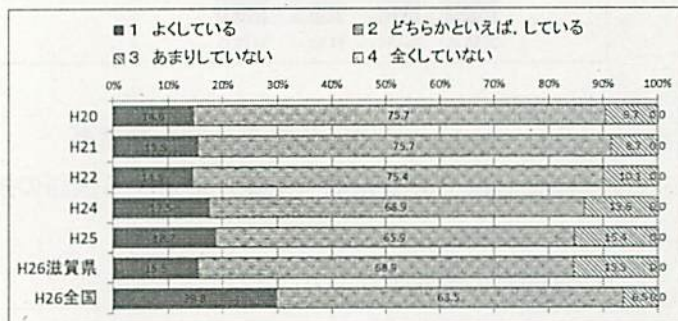
・調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか。

学校質問紙 小学校【32】中学校【32】

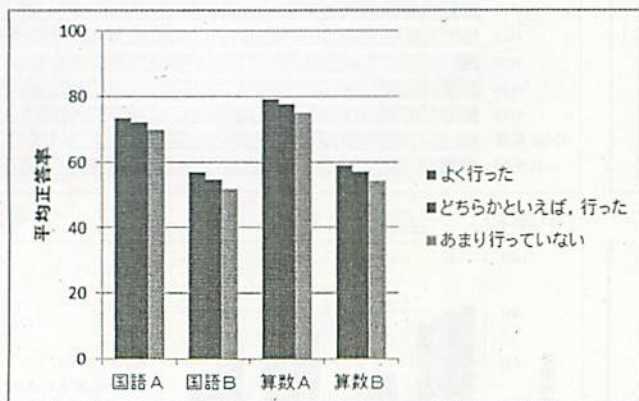
○質問紙の経年変化 (小学校)



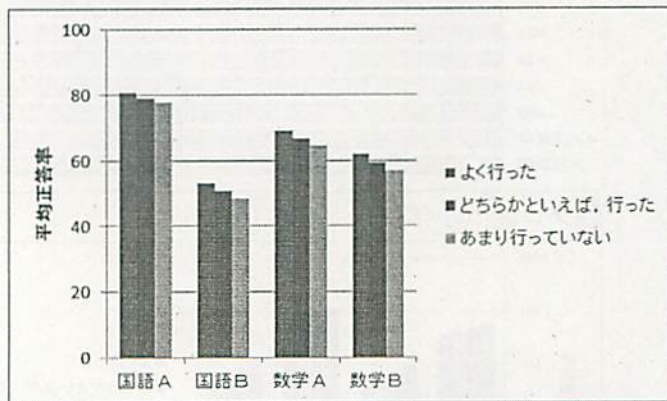
(中学校)



○クロス (小学校) : 全国 (公立)



(中学校) : 全国 (公立)



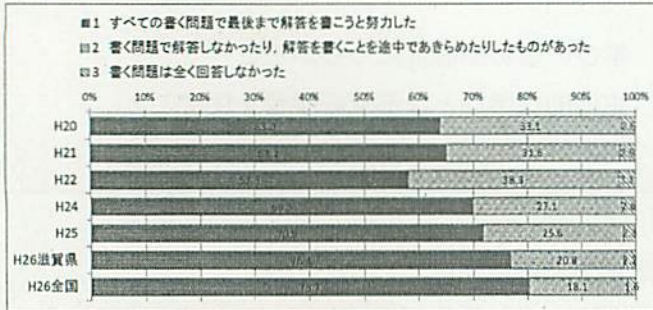


(2) 学びの姿勢や態度につながること

・算数（数学）の問題について

(小学校) 言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答しましたか。  
児童質問紙【72】

○質問紙の経年変化（小学校）

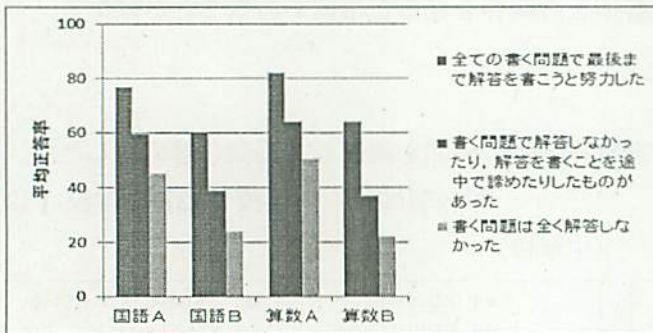


(中学校) 解答を言葉や数、式を使って説明する問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。  
生徒質問紙【72】

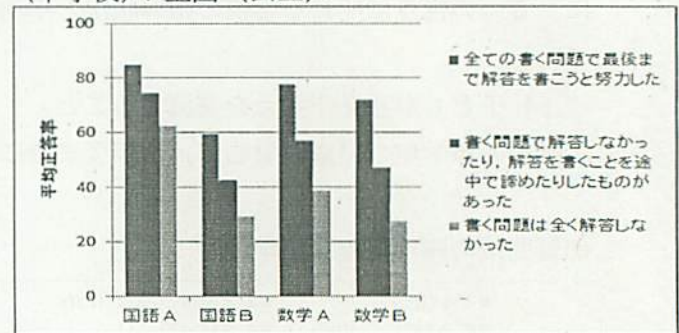
(中学校)



○クロス（小学校）：全国（公立）



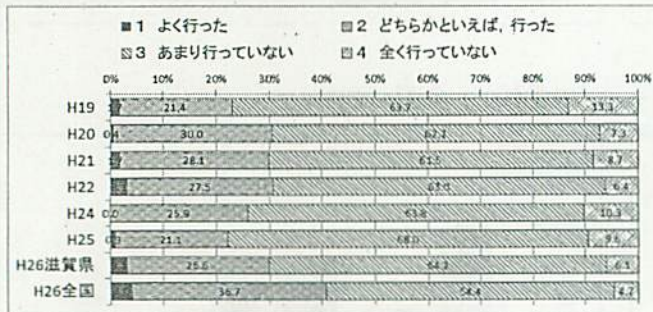
(中学校)：全国（公立）



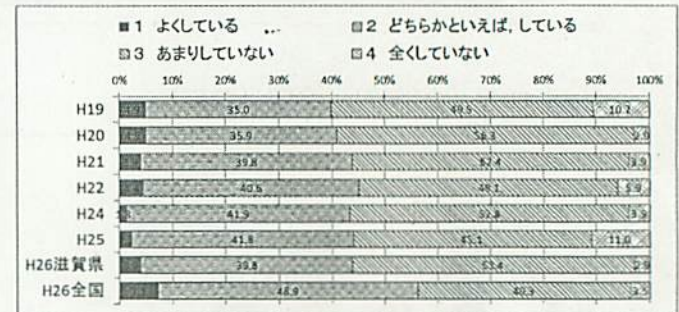
(3) 一人ひとりに応じたきめ細かな指導

・調査対象である児童（生徒）に対する国語の授業において、前年度までに発展的な指導をどの程度行いましたか。  
学校質問紙 小学校【60】 中学校【60】

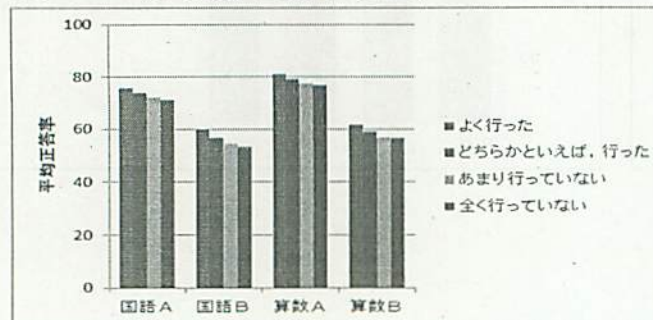
○質問紙の経年変化（小学校）



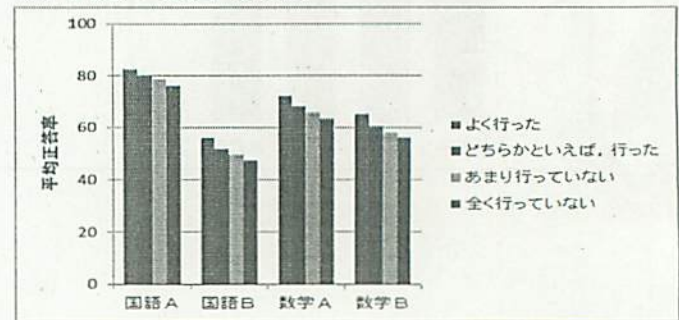
(中学校)



○クロス（小学校）：全国（公立）



(中学校)：全国（公立）



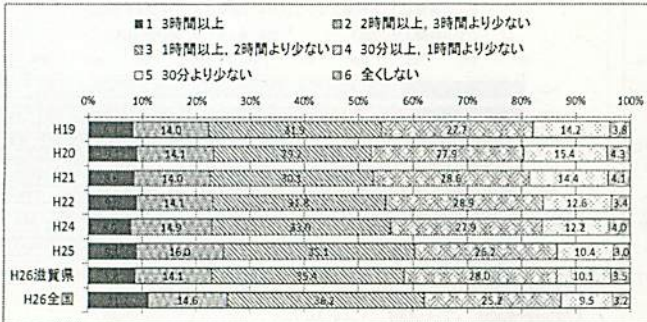


(4) 主体的な学びとなる家庭学習を促すこと

- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

児童生徒質問紙 小学校【14】中学校【14】

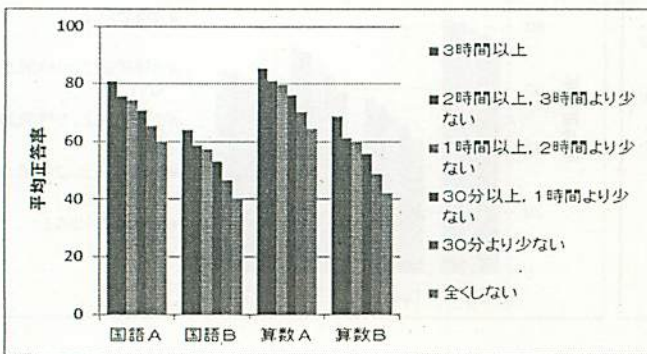
○質問紙の経年変化 (小学校)



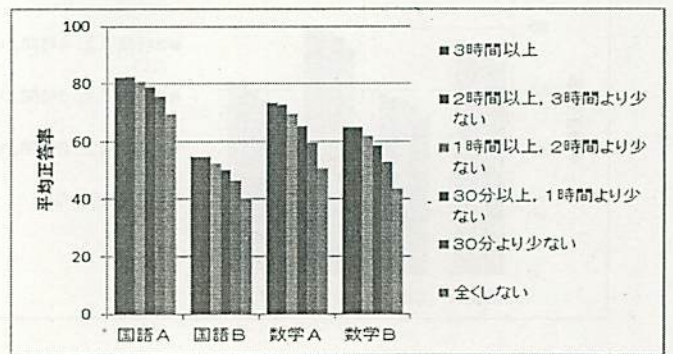
(中学校)



○クロス (小学校) : 全国 (公立)



(中学校) : 全国 (公立)

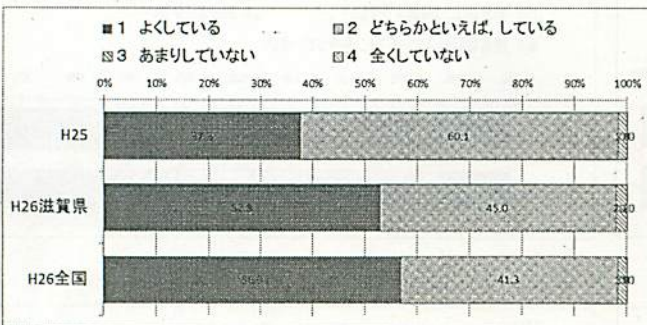


(5) 教師間で課題を共有すること

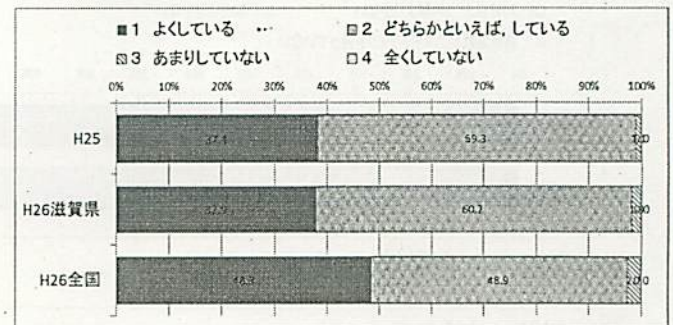
- ・「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している」について、どの程度当てはまりますか。

学校質問紙 小学校【99】中学校【97】

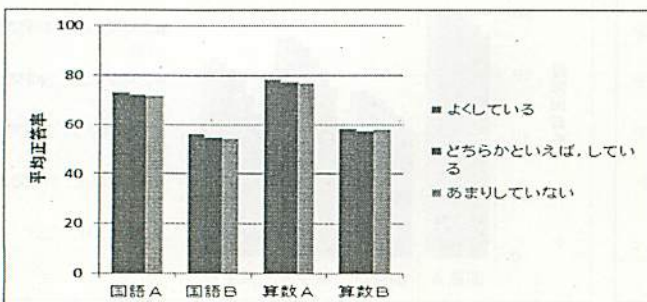
○質問紙の経年変化 (小学校)



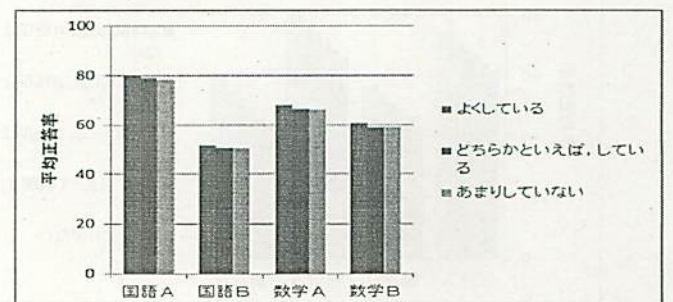
(中学校)



○クロス (小学校) : 全国 (公立)



(中学校) : 全国 (公立)



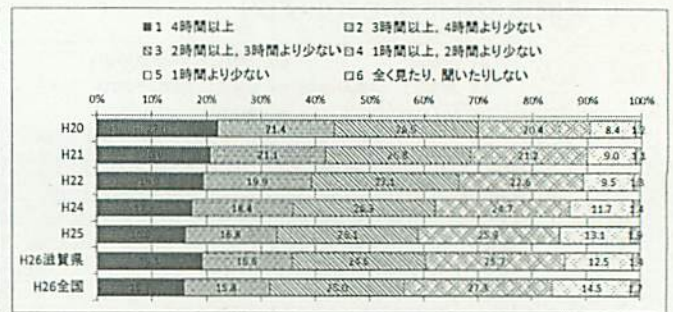
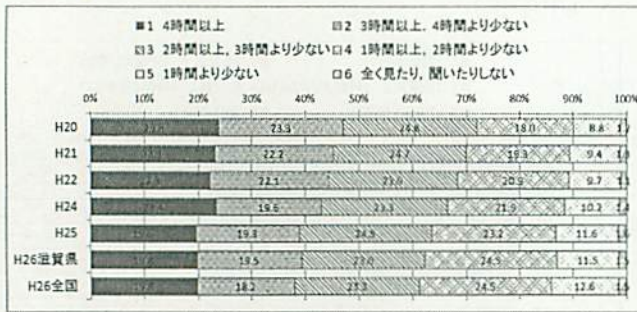


(6) 学習・生活習慣

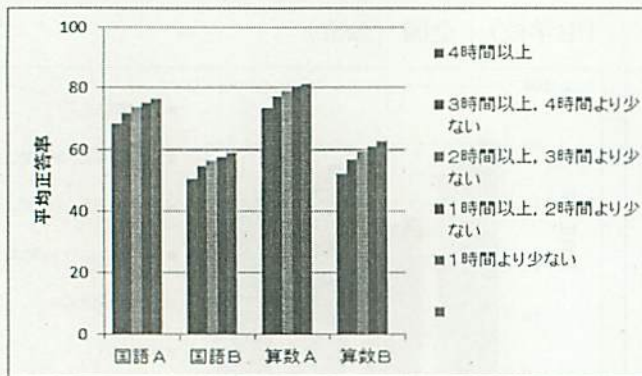
・普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

児童生徒質問紙 小学校【11】 中学校【11】  
(中学校)

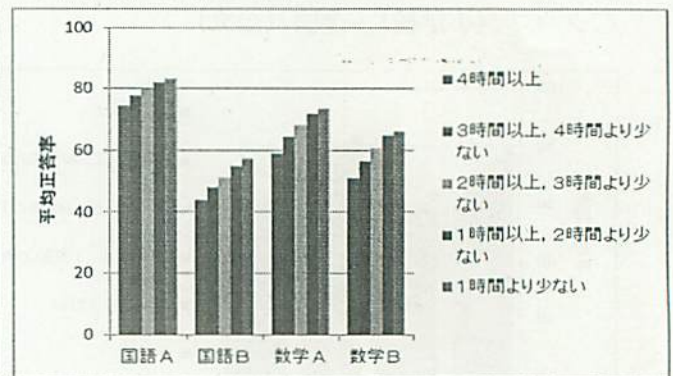
○質問紙の経年変化 (小学校)



○クロス (小学校) : 全国 (公立)

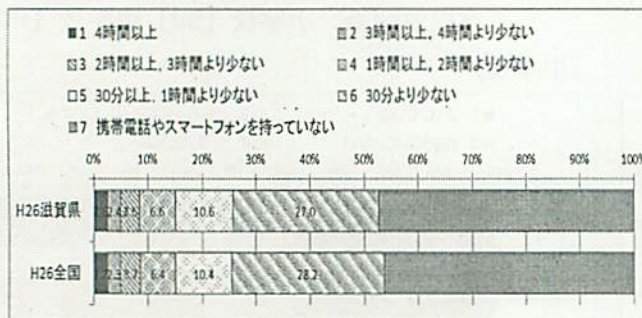


(中学校) : 全国 (公立)

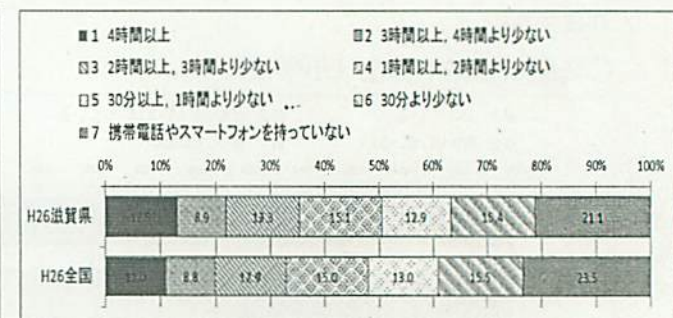


・普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(ゲームをする時間は除く) 児童生徒質問紙 小学校【13】 中学校【13】

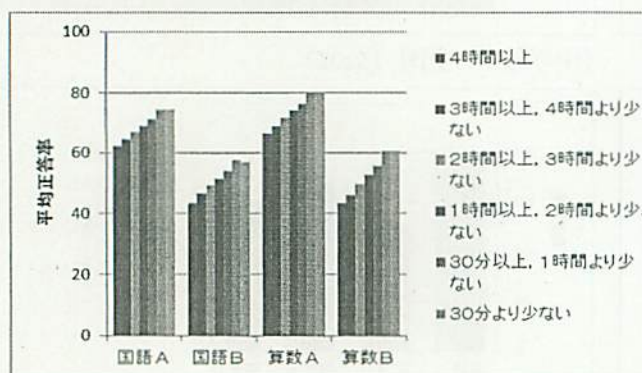
○質問紙の経年変化 (小学校)



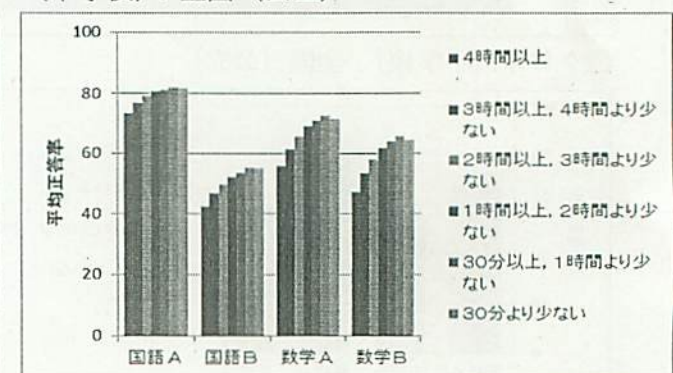
(中学校)



○クロス (小学校) : 全国 (公立)



(中学校) : 全国 (公立)



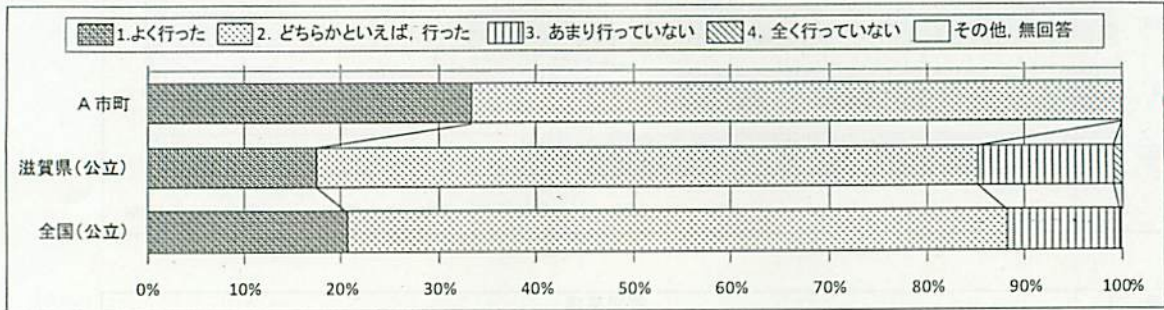


○ 学力向上を図る5つの視点からみた、各市町の改善状況

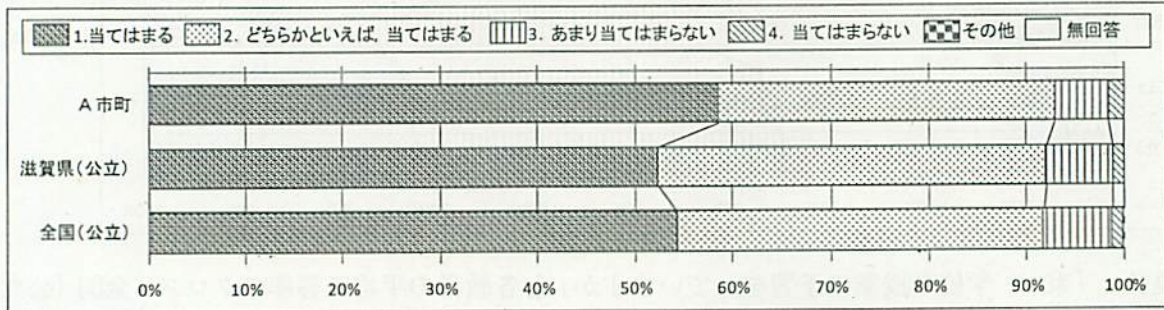
(1) 子どもが意見や考えを交流すること

A市町教育委員会（学校質問紙 小学校61、児童生徒質問紙 小学校9）

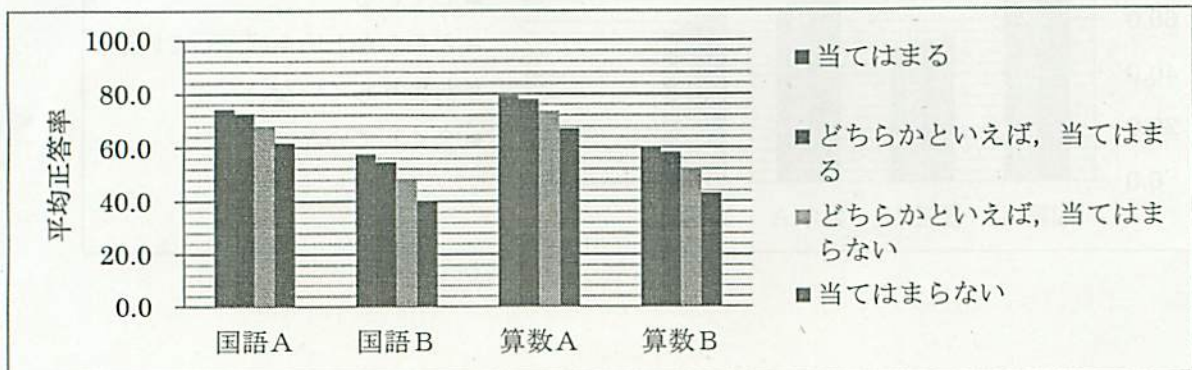
質問番号	質問事項									
(61)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他・無回答
A市町	33.3	66.7	0.0	0.0						0.0
滋賀県(公立)	17.5	67.7	14.0	0.9						0.0
全国(公立)	20.7	67.5	11.5	0.2						0.1



質問番号	質問事項									
(9)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
A市町	58.6	34.4	5.5	1.6					0.0	0.0
滋賀県(公立)	52.3	39.6	6.8	1.2					0.0	0.0
全国(公立)	54.3	37.4	7.0	1.2					0.1	0.0



クロス集計 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」と各教科の平均正答率のクロス：全国（公立）

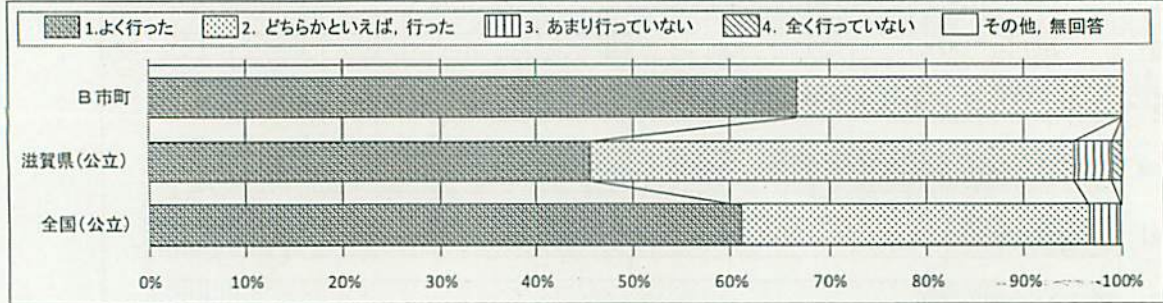




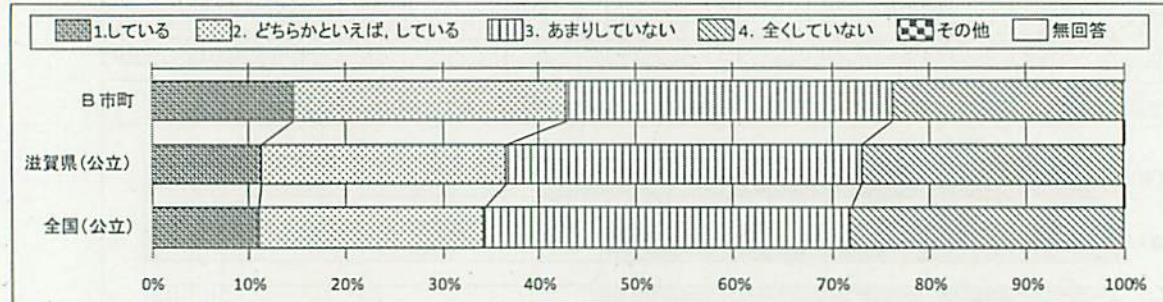
(2) 学びの姿勢や態度につながること

B市町 (学校質問紙 中学校 35、23)

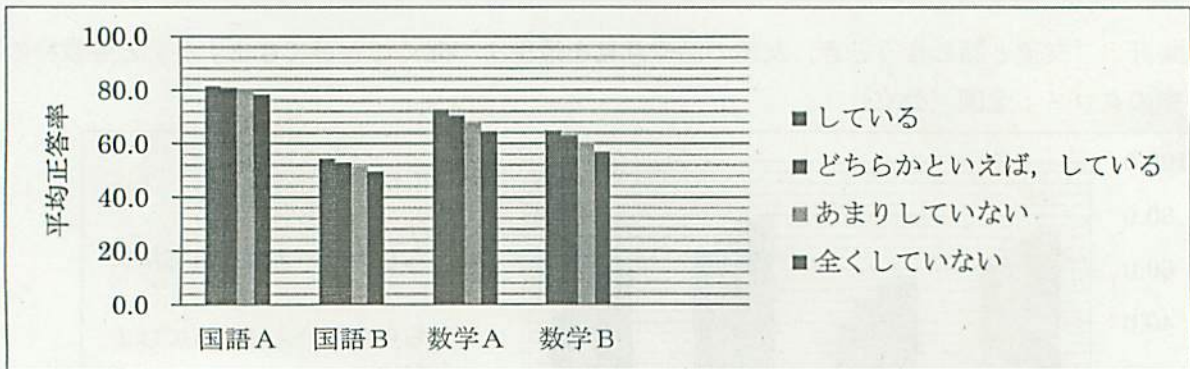
質問番号	質問事項									
(35)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他・無回答
B市町	66.7	33.3	0.0	0.0						0.0
滋賀県(公立)	45.6	49.5	3.9	1.0						0.0
全国(公立)	61.1	35.5	3.2	0.0						0.1



質問番号	質問事項									
(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
B市町	14.6	28.3	33.3	23.6					0.1	0.1
滋賀県(公立)	11.3	25.2	36.5	26.7					0.0	0.2
全国(公立)	11.0	23.2	37.6	28.0					0.0	0.2



クロス集計 「家で、学校の授業の予習をしていますか」と各教科の平均正答率のクロス: 全国(公立)

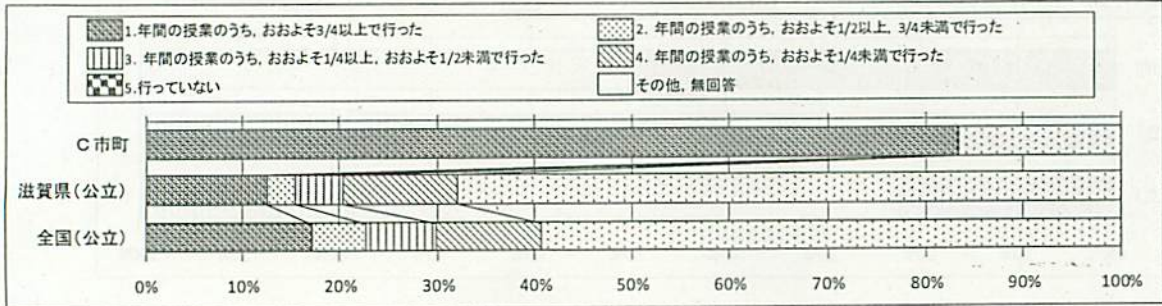




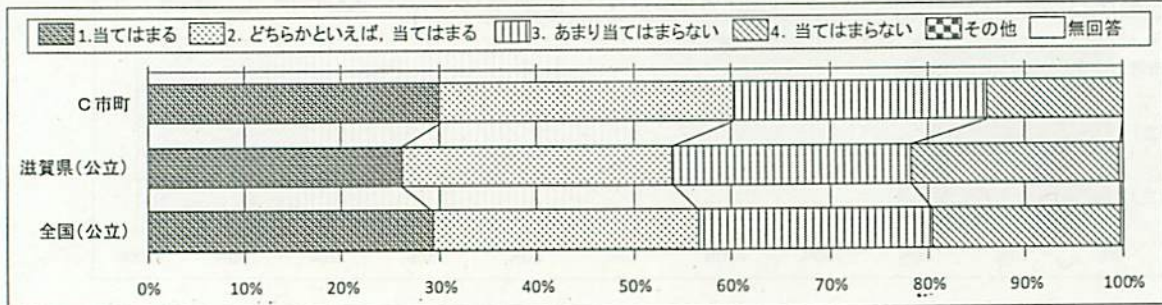
(3) 一人ひとりに応じたきめ細かな指導

C市町 (学校質問紙 中学校 53、児童生徒質問紙 中学校 62)

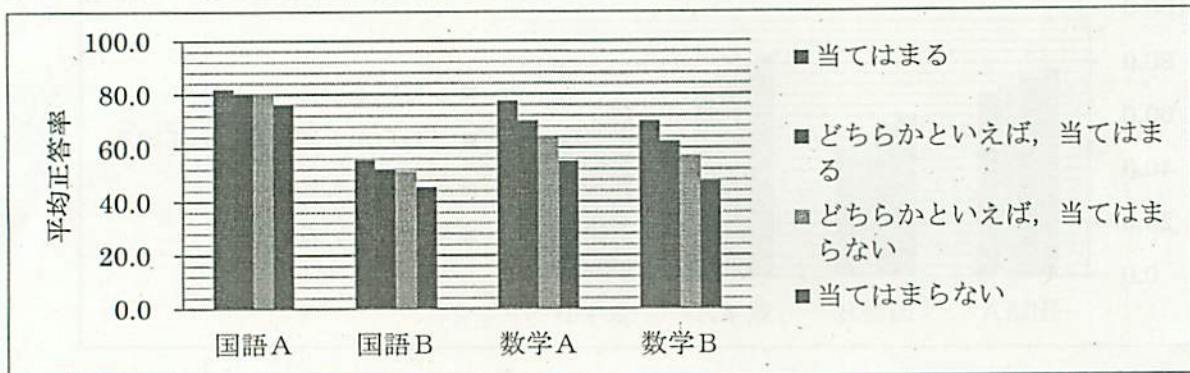
質問番号	質問事項									
(53)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他・無回答
C市町	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7					0.0
滋賀県(公立)	12.6	2.9	4.9	11.7	68.0					0.0
全国(公立)	17.2	5.5	7.2	10.7	59.1					0.2



質問番号	質問事項									
(62)	数学の勉強は好きですか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
C市町	30.0	30.2	25.7	14.0					0.0	0.0
滋賀県(公立)	26.1	27.9	24.2	21.4					0.0	0.4
全国(公立)	29.3	27.3	23.8	19.3					0.0	0.3



クロス集計 「数学の勉強は好きですか」と各教科の平均正答率のクロス：全国（公立）

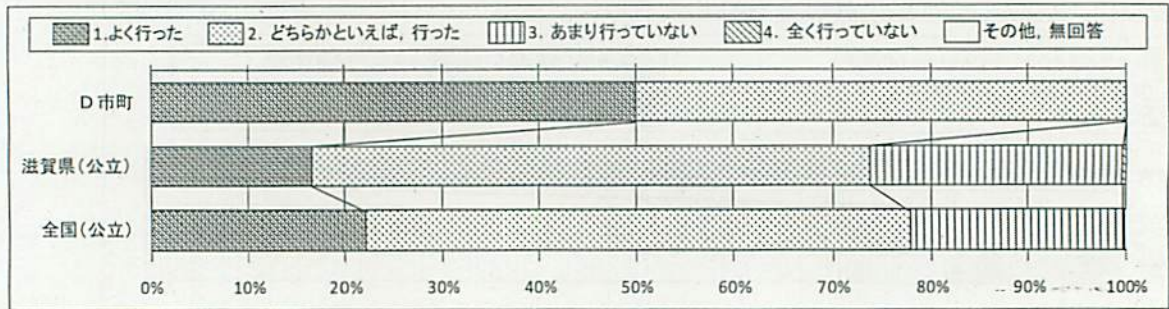




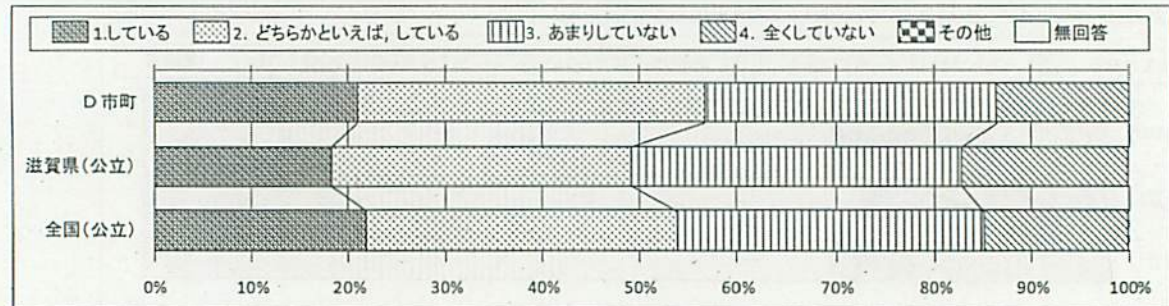
(4) 主体的な学びとなる家庭学習を促すこと

D市町 (学校質問紙 小学校 86、児童生徒質問紙 小学校 24)

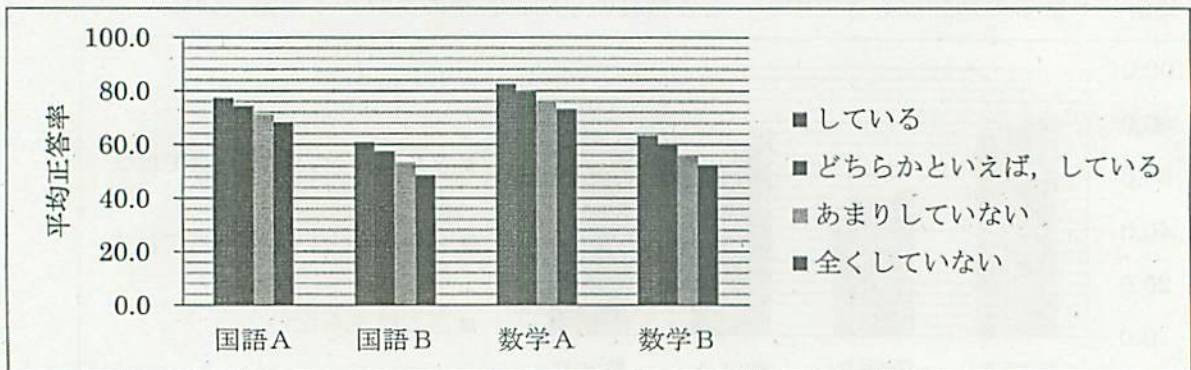
質問番号	質問事項									
(86)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数共通)									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他・無回答
D市町	50.0	50.0	0.0	0.0						0.0
滋賀県(公立)	16.6	57.2	25.8	0.4						0.0
全国(公立)	22.1	55.7	21.9	0.2						0.1



質問番号	質問事項									
(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
D市町	21.0	35.8	29.6	13.6					0.0	0.0
滋賀県(公立)	18.3	30.9	33.6	17.0					0.1	0.1
全国(公立)	21.9	32.1	31.1	14.9					0.1	0.0



クロス集計 「家で、学校の授業の復習をしていますか」と各教科の平均正答率のクロス: 全国(公立)

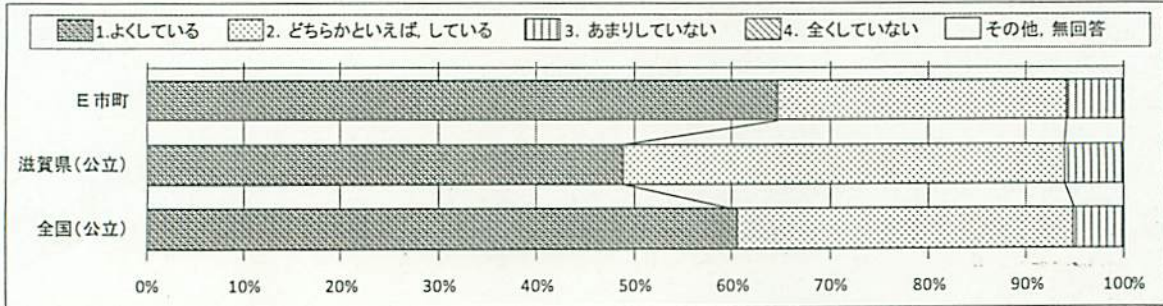




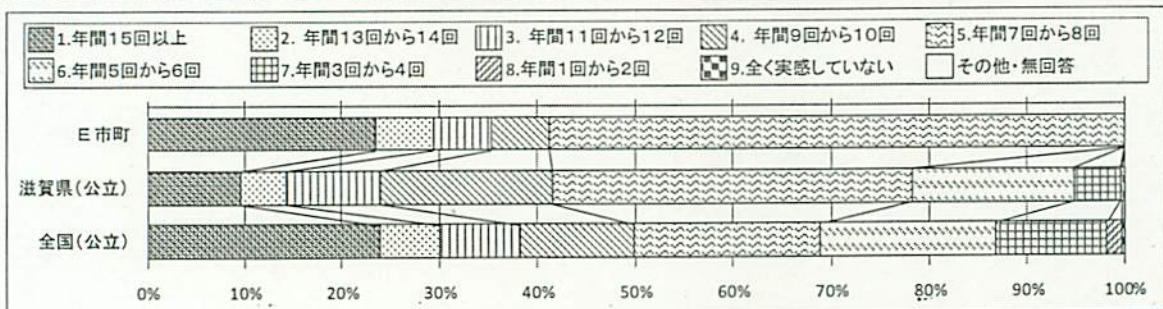
(5) 教師間で課題を共有すること

E市町 (学校質問紙 小学校 89、91)

質問番号	質問事項									
(89)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他・無回答
E市町	64.7	29.4	5.9	0.0						0.0
滋賀県(公立)	48.9	45.0	6.1	0.0						0.0
全国(公立)	60.5	34.4	4.9	0.2						0.0

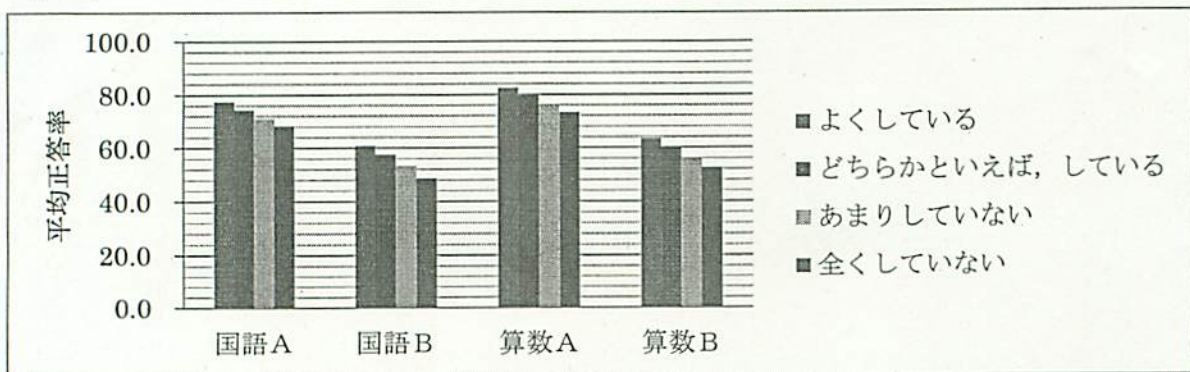


質問番号	質問事項										
(91)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
E市町	23.5	5.9	5.9	5.9	58.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
滋賀県(公立)	9.6	4.8	9.6	17.5	36.7	16.6	4.8	0.0	0.4	0.0	
全国(公立)	24.0	6.1	8.2	11.7	19.0	17.9	11.5	1.5	0.1	0.2	



クロス集計

「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか」と各教科の平均正答率のクロス：全国(公立)





## ○ 学力向上を図る5つの視点からみた、学校の取組事例

平均正答率の全国（公立）との差が、平成25年度から改善したり、児童生徒の学習状況が改善したりした学校の中から、参考となる学校の取組事例を紹介する。（詳細別紙）

### （1）子どもが意見や考えを交流すること

- ・根拠や理由を明確にして説明する子どもが増えた小学校の例（豊郷町立豊郷小学校）

### （2）学びの姿勢や態度につながること

- ・見通しをもち、主体的に学習に取り組む子どもが増えた小学校の例（野洲市立北野小学校）

### （3）一人ひとりに応じたきめ細かな指導

- ・一人ひとりに応じたきめ細かな指導を実践した中学校の例（高島市立マキノ中学校）

### （4）主体的な学びとなる家庭学習を促すこと

- ・意欲的に授業に取り組むための家庭学習を進めた中学校の例（甲賀市立甲賀中学校）

### （5）教師間で課題を共有すること

- ・学校全体で課題を共有し、共通の取組を通して、書く力を付けた小学校の例（長浜市立びわ南小学校）



## 根拠や理由を明確にして説明する子どもが増えた小学校の例

学校名	豊郷町立豊郷小学校
学級数	計 14学級
児童数	254名



### ○学校の特徴

#### 校内研究・校内研修の充実と活用

学力向上アプローチ事業をもとに校内研究に取り組み、全教職員が「できた、わかったを実感できる授業」の創造と指導方法等の授業改善を図り、その取組を共有しながら確かな学力の定着に努めています。

#### 共通実践ができる組織

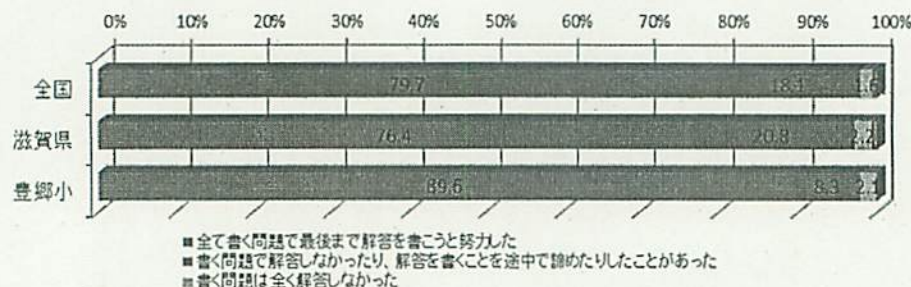
「学力向上委員会」に「授業実践部」と「家庭学習・学習環境部」を設け、「授業実践部」では、なぜを問う授業づくりを追究し、「家庭学習・学習環境部」では、学習規律の一般化、基礎・基本の定着を大切にした家庭学習の定着を図っています。

※平成25～27年度 学力向上アプローチ事業(県教育委員会指定)

※平成25・26年度 研究員研究「算数科教育に関する研究Ⅰ」研究協力校  
(県総合教育センター)

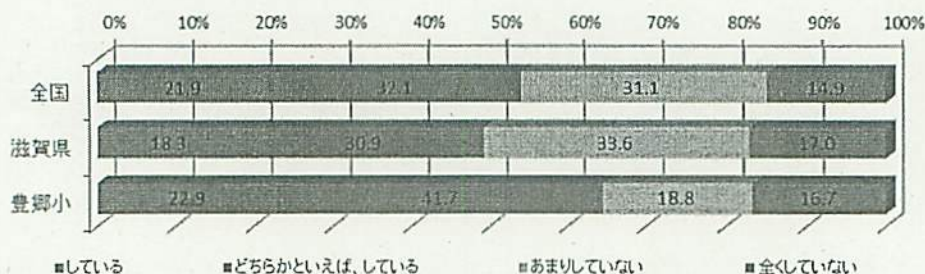
## 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果における特徴

### ○言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。



普段の授業の中でわけや求め方を書く活動を多く取り入れていることで、最後まで諦めず問題を解く意欲や、書く力が高まっていることがうかがえます。

### ○学校の授業の復習をしている。



学校での学習と家庭での復習をつなげることで、基礎・基本の学力が身につけていることがうかがわれます。



## 学力や学習状況の改善に寄与したと考えられる取組

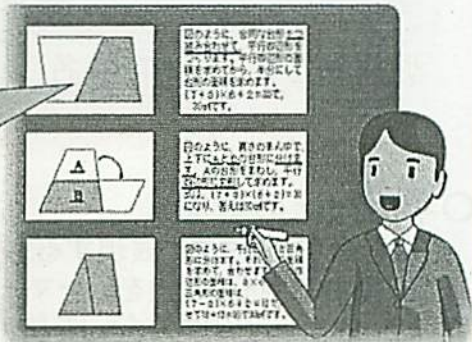
### 言葉、数、式、図などを関連付け、根拠を明確にして説明する授業実践

○図や式を読み取って説明する活動を取り入れています。

「この図の考え方は分かるかな？」と発問し、一方の情報だけを提示し、他者の考えを解釈する活動を取り入れることで、双方向から考えることができます。



「パッと見てわかるように・・・」理由や根拠を明確に示す必然性をもたせませす。

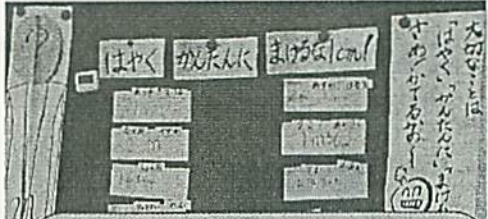


根拠を明らかにした、数学的な解釈を促すことができ、考えを広げることにつながります。

### 算数の用語を適切に使い、自分の考えを伝える授業

○「メートル」「センチメートル」や「底辺」「高さ」などの算数の用語を適切に用いた説明ができるように促します。

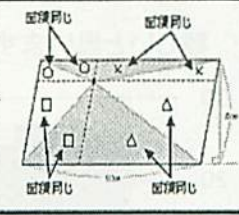
ペアで考えを交流し、分かりやすい説明にするために何を、どのような表現方法で書けばよいか話し合います。



つまずきを予見し、手立てとして、自分の考えをまとめる際に、キーワードを示します。



- (正答の条件)  
次の①、②、③の全てをわいている。  
① 長方形、平行四辺形の中の点を通る、上下、左右に平行な補助線をひくこと(図)  
② 色のついた部分と、ついてない部分の隣り合う三角形は、底辺と高さがそれぞれ同じ長さであること。  
③ 色のついた部分と、ついてない部分の隣り合う三角形の面積は、それぞれ同じであること。(図)



「こんな説明ができればいいな。」というモデルを教師がもっていると、子どもの到達状況に応じてほめたり、つまずきに配慮した指導に生かしたりすることができます。



## 見通しをもち、主体的に学習に取り組む子どもが増えた小学校の例

学校名	野洲市立北野小学校
学級数	計22学級
児童数	488名



### ○学力向上の取組

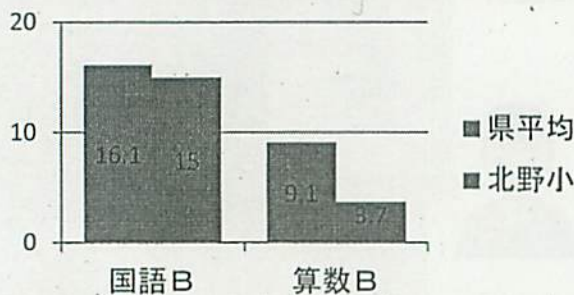
- ・「自分の考えをもち、表現する力をはぐくむ～目的に沿って読む活動・目的をもって書く活動を中心に～」をテーマに、国語科を中心に授業改善に取り組んでいます。
- ・朝学習に「ことのはタイム」を位置付けて基礎技能の積み上げを図ったり、子どもの興味をひく言葉のクイズや学習の成果物を積極的に掲示したりしています。
- ・宿題の内容や量の見直し、「きたのっ子の勉強の仕方」「家庭学習の支援のポイント」の配付・活用など、家庭と連携し、家庭学習の習慣化へ向けた取組を進めています。

※平成24年度 言語力アップ推進事業(県教育委員会指定)

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果における特徴

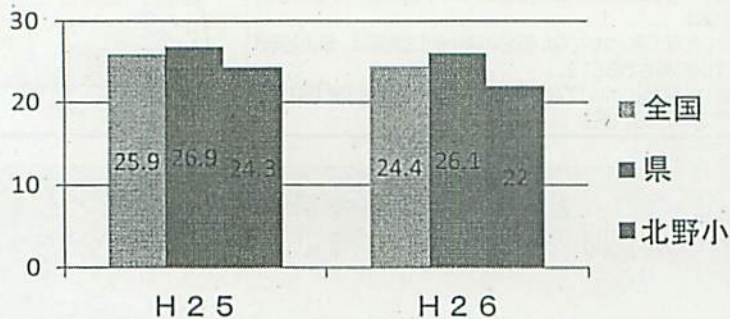
### 記述式問題に係る無解答率

※記述式問題 文章で理由などを答える問題。短い文章から100字程度まで



・国語・算数ともに記述式問題の無解答率は、県平均より低くなっています。無解答率が低くなった理由として、普段の授業で記述することを多く取り入れることで書くことに慣れ、書く意欲の向上につながっていることがうかがえます。

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」に「そう思う」と答えた児童の割合



・質問紙調査において、「学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しい」と思う児童の割合が全国より少なく、昨年度と比べてもさらに減っていることから本校では、この点が記述式問題の無解答率に結び付いていると考えられます。

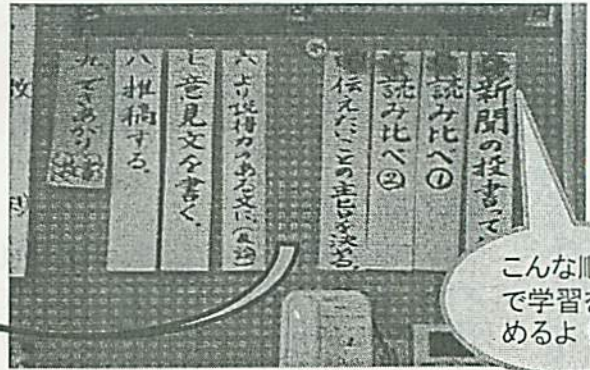


学力や学習状況の改善に寄与したと考えられる取組

見通しをもち、主体的な学びを生む学習過程の提示

○単元の導入で、学習過程の見通しを示し、主体的に学ぶ意欲をもたせます。

今日の学習の内容はこれだ！

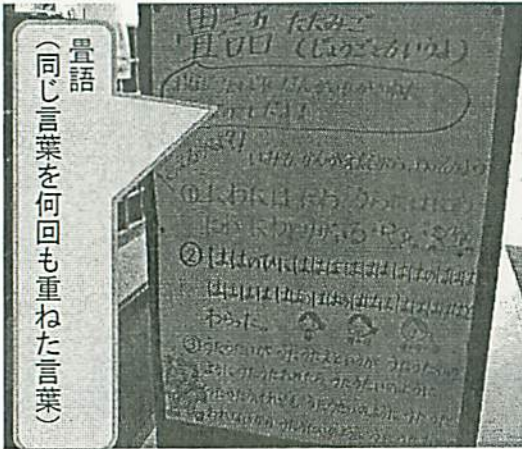


こんな順序で学習を進めるよ！

☆最初に学習の手順を示すことで、子ども自身に見通しをもたせ、毎時間の学習目標や学習内容を意識させることにより、主体的に取り組む姿勢につなげることができるようになります。

言葉の感覚を磨き、自分の表現につなげる環境づくりの工夫

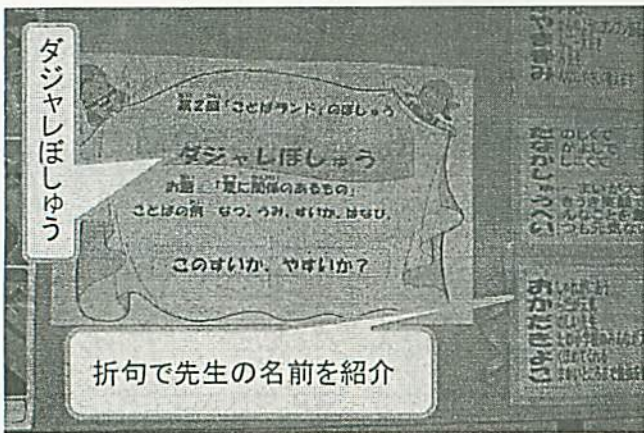
○校内の言語環境を整備し、普段から言葉にふれる機会を増やします。



置語  
(同じ言葉を何回も重ねた言葉)



回文  
(逆さから読んでも通じる言葉)



ダジャレぼしゅう

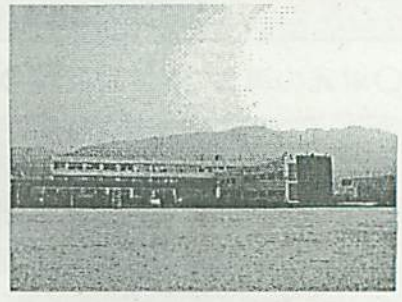
折句で先生の名前を紹介

☆置語や回文、ダジャレ、折句など、いろいろな言葉遊びを紹介し、普段から言葉の感覚を磨いたり、語彙を増やしたりすることができるようになります  
 ☆自分の表現に取り入れたり、生かしたりすることで、表現する楽しさや成就感を味わえるようにつなげます。  
 ☆全職員で取組を進めることにより、言葉で表現することへの意欲向上につなげていきます。



一人ひとりに応じたきめ細かな指導を実践した中学校の例

学校名	高島市立マキノ中学校
学級数	計7学級
生徒数	145名



○学力向上の取組

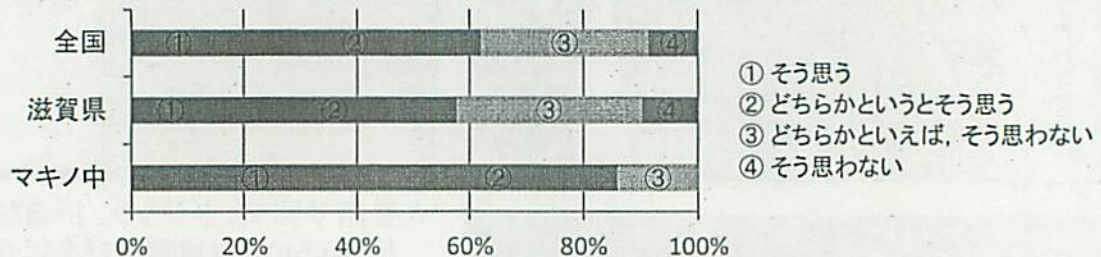
小中一貫教育を柱にして、学び合いの機会を多く取り入れ、言語活動を充実させた授業の実践を目指しています。生徒は授業の初めに、どの教科でも1分間スピーチをします。内容は前の授業の要点や感想などを発表します。また、合格するまで頑張る再テストなど、教科の学習においても、やりきる指導をすることで生徒も「やればできる」という自信を持たせています。

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果における特徴

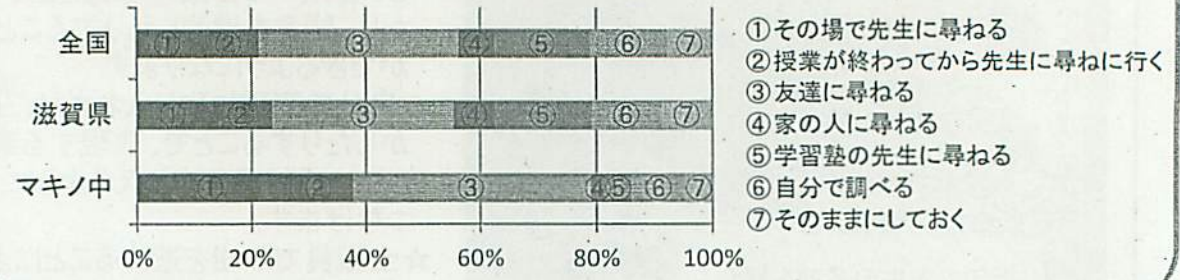
他者との関わり合いを大切にし、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を重視しています。学習状況調査で、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」と答えた生徒が全国平均より20ポイント以上高く、「授業の中で分からないことがあれば、教師に尋ねる」と答えた生徒の割合も高い傾向が見られます。わからないことをすぐに解決し、生徒が活発に話し合いながら学力を高めていることがうかがえます。

○質問紙調査より

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。





## 学力や学習状況の改善に寄与したと考えられる取組

### 様々な角度から生徒一人ひとりに関わる全校体制

○教科の担当から  
単語テストや単元  
テストなどから生徒  
の定着度を確認し  
ます。定着していな  
い生徒には昼休み  
や放課後を利用し  
て補充学習を実施  
します。

◎全校体制で  
生徒には全校体制で関わりま  
す。一人ひとりに合わせた関わり  
方を考え、個に応じた指導を考え  
ます。

○学年の担当から  
定期テスト前には  
日課を変更し、7時  
間目を実施するこ  
とで、学力の向上を  
図ります。教師も教  
室に入り、生徒の質  
問に答えます。

○学級担任から  
生徒は帰りの会  
に家庭学習の計画  
を立てます。担任  
の教師は、自主学  
習ノートを点検し、  
学習方法などをア  
ドバイスします。



○部活の顧問から  
夏休みなどの長期  
休業中には、部活開  
始前の1時間程度を  
学習にあてます。

### 数学科における習熟度別少人数学習

#### マキノ中学校プラン

生徒の実態把握  
・小テスト  
・授業の様子

指導方法の確認  
・1分間スピーチ  
・交流場面の設定

ベーシック  
コース  
スタンダード  
コース

単元テスト  
+  
レディネステスト

生徒の実態把握のための話し合い



ベーシックコース  
基礎的・基本的な内  
容の定着

教科書を  
基本に

スタンダードコース  
基礎的・基本的な内  
容を基にした演習

ホワイトボードを活用した話し合い





## 意欲的に授業に取り組むための家庭学習を進めた中学校の例

学校名	甲賀市立甲賀中学校
学級数	計13学級
生徒数	310名



### ○学力向上の取組

「主体的・意欲的に自分を高める」「思考力と発想力を育て工夫する力を高める」ことなどを目標に掲げ、授業における言語活動の工夫として、各教科での1分間スピーチやグループでの話し合いを通じた考えの交流を充実させています。

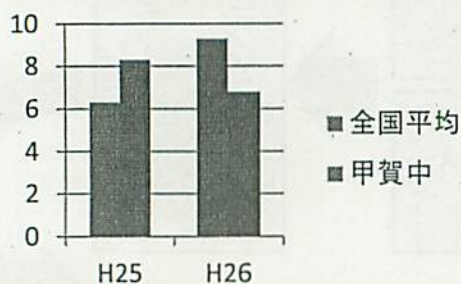
また、学習に主体的に取り組む意欲を向上させる工夫として、家庭学習の習慣を確立させる宿題や予習の習慣化を図る取組を進めています。

※平成24年度 言語力アップ推進事業(県教育委員会指定)

※平成26年度 言語活動スタートアップ事業(県教育委員会指定)

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果における特徴

### 国語Bの記述式問題に係る無解答率



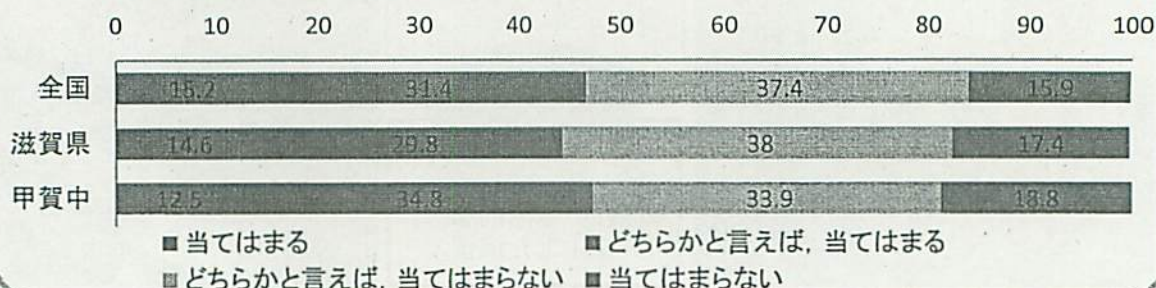
※記述式問題 文章で答える問題。  
短い文章から100字程度まで

国語Bの記述式問題の無解答率が今年度、全国平均を大きく下回っています。

※無解答率が低いということは、自分の考えをもち、書きあらわす意欲をもっている生徒が多いということだと考えられます。

また、質問紙調査においては、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合が全国より高く、本校では、この点も記述式問題の無解答率の低さに結び付いているものと考えられます。

### 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか





## 学力や学習状況の改善に寄与したと考えられる取組

### 考えを交流する授業と結びついた予習の取組

○自分の考えをまとめるための予習を行い、授業で考えを交流し合います。



わたしは、文章に書かれていることをこう捉えました。

文章の構成によって、読み手の意識を高める効果があるのだと思います。この文章では、はじめに・・・。

- ☆予習として、文章や資料を読んで考えたことをまとめてきます。
- ☆授業で交流する時間が十分確保されていることで、考えが深まります。
- ☆予習を通して授業への意欲が高まり、学習に主体的に取り組むことができます。

### テストの間違いを振り返って学習する方法の指導

○定期テストごとに、間違った理由を考え、自分の学習の仕方と併せて振り返る取組を、3年間継続して行っています。

間違ってしまった自分の答えを書く

正しい答えを書き写す

なぜ間違ったか、自分で分析し、理由考えて書く

間違った問題の問題文を書き写す

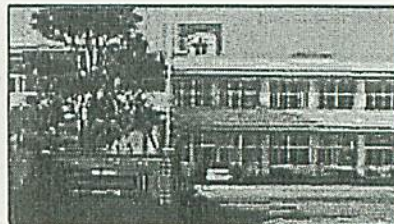
普段の授業での取組や家庭学習の方法を振り返り、学習方法の改善点や改善方法を自分で考え、書く

☆「なぜ間違ったか」「学習の方法をどう工夫すればよいのか」を考えることで、自分から進んで家庭学習に取り組む習慣を身に付けることができます。



## 学校全体で課題を共有し、共通の取組を通して、書く力を付けた小学校の例

学校名	長浜市立びわ南小学校
学級数	計14学級
児童数	302名



### ○学校の特徴

学校目標「豊かな創造力 広い心で 未来を切りひらくたくましい子」の実現に向けて、学力向上策『あゆっ子プラン』を掲げ、“全ての基本は授業から”を合言葉にPDCAサイクルを生かしながら、○授業の改善 ○学習環境の改善 ○言語環境の改善や表現力の育成を柱に取組を推進しています。

※平成25・26年度 学力向上アプローチ事業 研究指定校(県教育委員会指定)

※平成25・26年度 研究員研究「国語科教育に関する研究Ⅰ」研究協力校  
(県総合教育センター)

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果における特徴

### ○記述式問題について

\* 自校採点后、自校の課題を全教職員で共有し、校内研究のテーマと絡めながら、具体的な学力向上策の取組を進めています。夏季休業中には、向上策の見直しを行い、さらに2学期の取組につなげています。

\* 「書く力」を付ける指導に重点をおき、ノート指導の充実を図るとともに書かせる指導を多く取り入れたことにより、書くことにおける正答が増えました。

\* 昨年度にくらべ、全体を通して最後まであきらめずに解答を書こうとした子どもの割合が増えました。書くことに慣れ、書く力が付いたことで自信が付き、意欲的に問題に取り組もうとする姿がうかがえます。

### ○児童質問紙より

「国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」という設問に対して、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したと答えた児童の割合が伸びており、全国に比べても多くなりました。

学力向上アプローチ事業を受け、全校で表現力の向上に取り組んだ成果が、書くことをいとわない子どもの育成に影響を与えたものと思われれます。



学力や学習状況の改善に寄与したと考えられる取組

書くことをいとわない子どもを育てる全校的な取組

○振り返る場面において100字で自分の考えを書く取組



授業の中で「振り返る場面」を位置づけ(5分間)、100字のマス目プリントに自分の思いを書かせます。教師はうまく表現している所を評価し、書く意欲を促します。

字数(100字)を意識させることで、自分の思いをどうすれば的確に伝えられるかを考え、言葉や表現方法を選んで書くようになります。

条件に合わせて、工夫して文章を書くことで、よりよい表現を見つけ、相手に伝える表現を意識することができます。

教師も自らの指導を振り返ることが出来ます。

言語環境を整え、「言葉の力」を高める組織的・継続的な取組

話し方・聞き方・ノートの取り方のルール作り

教室に掲示することで、教師も子どもも「言葉のルール」を意識します。

**めざせ！ 聞き方名人**

**お え う い あ**

- おとさずに 大事なことを
- えがおいで
- うなずきながら
- いいところを見つけて
- あいてをしっかりと見て

**めざせ！ 話し方名人**

**こ け く き か**

- 声をとどけよう
- 元気を出して
- 口をあけて
- きちんと立って
- よく考えて

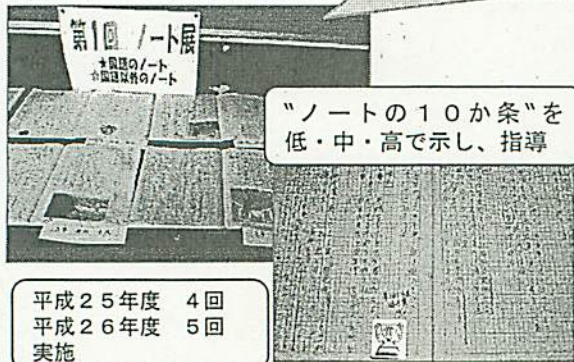
**めざせ！ ノートの達人**

**そ せ す し さ**

- そっぴん！ 赤鉛筆
- せんは定規で まっすぐに！
- すっきりはっきり ていねいに！
- しっかりと書こう 自分の考え
- さいしょにめあて さいごに感想

手本となるよいノートの展示 (ノート展)

異学年の児童のノートを目にすることは自信とあこがれを持つことにつながります。



「ノートの10か条」を低・中・高で示し、指導

平成25年度 4回  
平成26年度 5回  
実施

「言葉のコーナー」の設置

\*古典に親しむことで、日本語のもつ美しさに触れます。\*全校児童が「題」に沿った折句や五行詩を作って表現力を少しずつ向上させています。



川柳・俳句・五行詩

詩のクイズ

言葉の楽しさに触れます。